

2026 年 08 月 18 日

ニュースリリース
報道関係各位

入江工研株式会社

第 23 回日本加速器学会年会において企業展示会に参加いたします 宇宙観測機輸送に革新をもたらす NEG ポンプ技術を共同開発 「NEGLAZE® (ネグレイズ®)」を展示

半導体製造装置・高速鉄道等に活用されるベローズ※1の開発・販売を手掛ける入江工研株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 入江則裕 以下、当社）は 8 月 26 日（水）から 8 月 28 日（金）に宮城県仙台市青葉区にある仙台国際センター 展示棟にて開催されます「第 23 回日本加速器学会年会」にて企業展示に昨年に続き参加いたします。

2025 年 11 月 4 日より本格販売を開始した「NEGLAZE (ネグレイズ)」をはじめ、主要製品であるベローズ(金属伸縮継手)を展示。当日は当社社員が常駐し、ご質問やご不明点についてご説明させていただきます。



昨年の展示ブースの様子

※1「ベローズ (Bellows)」とは、日本語に訳すと「蛇腹」と言う意味を持ちます。工業製品でいう「蛇腹」とは紙・布・プラスチック・金属などの膜ないしは板状の部材で作られる、山折りと谷折りの繰り返し構造の製品です。真空を扱う分野では、一般に金属で製作した筒状のものにひだを設け、伸縮性・気密性・バネ性を持たせたものを「ベローズ」と呼んでいます。つまり、「ベローズ」＝「伸縮管」です

■出展の目的

当社は数十年にわたり本学会の企業展示に継続して出展しており、これまで当社製品に関連する研究者や企業の皆様との有意義な情報交換の機会を得てまいりました。特に、本学会は産学連携の促進や最新技術の情報収集において非常に有益な場であり、展示を通じて新たなご相談や共同研究・共同開発につながる機会を数多くいただいております。

本年も、これまで築いてきた交流をさらに深めるとともに、新たな研究者や企業の皆様との接点を広げる機会となることを期待し、継続して出展いたします。

本学会は、各社が最新技術や新製品を発表する場としても注目されており、業界動向や研究開発の最前線に触れることができる貴重な機会です。

今回の出展では、お客様に当社製品を実際にご覧いただきながら、当社の真空技術や製品開発力について理解を深めていただくとともに、活発な情報交換を通じて市場ニーズや課題を把握し、今後の製品開発やサービス向上につなげることを目的としています。また、既存のお客様との関係強化に加え、これまで接点のなかった企業や研究機関の皆様にも当社の技術や製品を知っていただくことで、新たな連携や事業機会の創出を目指してまいります。

■主な展示品

無酸素 Pd/Ti 蒸着非蒸発型ゲッター(NEG)ポンプ「NEGLAZE® (ネグレイズ®)」※2 (現品展示)

2022 年度 (一社) 日本真空工業会表彰『イノベーション賞』を受賞製品

、ドライポンプ、ターボ分子ポンプなどと組み合わせることで 10-8Pa 台以下の超高真空を実現できる気体溜め込み式の 真空ポンプ※3 で、2025 年 11 月に正式販売を開始しております。

2025 年 10 月には国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科の吉川一朗教授らと「宇宙観測機輸送に革新をもたらす NEG ポンプ技術の開発」として共同発表をさせていただいており、当製品により惑星科学や深宇宙探査が進歩することが期待されています。

NEGLAZE はお客様の用途に応じて、比較的容易に超高真空環境を作り出すことができます。例えば、超高真空環境を必要とする容器・機器・装置（分析装置や試料保管容器など）に応用可能です。

今回、販売を開始した ICF203 サイズのゼロレンジ型を展示いたします。

*2:NEGLAZE 及びネグレイズは当社の登録商標です。

*3: 参考値であり、お客様の使用状況によって異なりますのでご注意ください。

※本製品は、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構が有する、特許 第 6916537 「非蒸発型ゲッターコーティング部品、容器、製法、装置」の許諾を受けています。



溶接ベローズ (現品展示)

溶接ベローズとは、精密なディスク上の薄肉金属板を内径と外径を交互に溶接しながら繋ぎ合わせて製作される金属ベローズです。

ベローズと内部と外部の圧力を溶接により遮断した状態で軸方向・軸直角方向・角度方向に変位をさせる事ができます。

加速器・核融合・鉄道・医療などの幅広い分野において、気体・流体の気密封止を担うシール部材として使用されています。

「伸縮性」と「高い気密性」を併せ持つ特長を活かし、加速器などの装置における固定配管同士の接続部やシール部、容器とポンプを接続することも可能です。



成形ベローズ（現品展示）

成形ベローズは、溶接ベローズに比べて歴史的に古くいろいろな製造方法が考案されています。一般的に広く採用されているのは、機械的に成形するロール成形法と、液圧によるバルジ成形法です。

加速器・核融合・鉄道・医療などの幅広い分野において、気体・流体の気密封止を担うシール部材として使用されています。実験用や振動吸収の用途にも使用されます。



当社の活躍の場は海外市場にまで拡がり、真空技術の新たな価値を生み出す研究開発に取り組んでおります。当社の「強み」である「今ある技術を軸として発展を継承する」「個性ある技術＝お客様の想像を超える技術の開発」を目指し、人財を育成し、技術の発展のための開発を続けていきます。

■開催概要

第 23 回日本加速器学会年会

会期：2026 年 8 月 26 日（水）-8 月 28 日（金）

会場：宮城県仙台市青葉区 仙台国際センター 展示棟

主催：一般社団法人 日本加速器学会

共催：量子科学技術研究開発機構 NanoTerasu センター/東北大学 先端量子ビーム科学研究センター

後援：（公財）仙台観光国際協会

主催者 HP: <https://www.pasj.jp/dai23kainenkai/index.html>

■展示場所

仙台国際センター 展示棟 「展示室 2」

IKC ブース番号：【31】

以上

入江工研株式会社 会社概要

代 表 者：代表取締役社長 入江則裕

設 立：昭和 41 年 5 月 24 日

資 本 金：1 億円

住 所：〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 414

T E L：03-3507-9611（代表）

F A X：03-3507-9615（代表）

U R L：<https://www.ikc.co.jp/company.html>

アクセス：<https://maps.app.goo.gl/iSsyCWrrXXgq2rzDE6>

従 業 員：約 196 名（2026 年 3 月 31 日現在）

<本件に関するお問い合わせ先>

入江工研株式会社 経営企画室 広報係 担当 村山

TEL:03-03-3507-9617/ Fax: 03-3507-9615

Mail: koho@ikc.co.jp